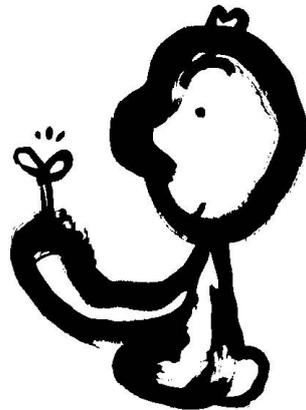


認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

平成 27 年度事業報告書



平成 28 年 5 月

はじめに

平成27年度は、長年理事を務めてきた私こと戎正晴が、5月の総会にて正式に理事長に就任いたしました。また、10月には念願の認定NPO法人格を取得いたしました。

また、平成26年9月に急逝されました黒田裕子前理事長を追悼し、彼女が未来に向けて発信してきたメッセージを継承していくことを目的とした追悼フォーラムを、11月に開催しました。

そして同じく11月には、(有)ボック（福原敏晃代表取締役、当基金理事）との連携により、初めて寄附つき商品「Arima Salt Cookie」が販売開始されました。

合わせて、発災から5年目を迎える東日本大震災の被災者を支援するために、4月からTポイントを寄付できるYahoo ネット募金に登録して運用を開始しました。また、ドキュメンタリー映画「友よ！大重潤一郎 魂の旅」の連続上映会を、6月から12月まで計6回開催して、これらによる募金を、「ずっと・こころ・つなぐ基金」に積み立てました。

平成27年度助成事業では、今回も「次代の市民活動の担い手育成を重視する」と「地域との連携の観点を重視する」というテーマを掲げて実施しました。そして、10月に開催した公開審査会の結果、8団体（一般枠；4団体、特定枠；4団体）の各事業に合計300万円（一般枠；200万円、特定枠；100万円）の助成金を交付しました。

そして、12月には、かねてから当基金のファンドレイジング力強化のために企画を検討してきました「市民ファンド推進助成プログラム」（助成元：市民社会創造ファンド）への助成申請が採択されることになりました。

平成28年度は、この企画に基づいて当基金のファンドレイジング力の基盤強化を図っていくことで、支援者と社会的な課題解決に役割を果たしている市民活動団体を結びつける役割を、より一層担ってまいります。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 戎 正晴

目次

はじめに	1
目次	2
1 助成事業	
ア) 平成 27 年度助成事業	3
イ) 平成 27 年度しみん基金・KOBE 特別賞	5
ウ) 平成 26 年度助成事業成果報告会	5
2 寄附・募金活動	
ア) 寄附金・募金受入	6
イ) イベント募金	7
① こうべ・あいウォーク 2016 <協働>	
② ずっと・こころ・つなぐ基金上映会	
ウ) 協働企画型寄付システム	7
① 古着チャリティ事業 <協働>	
② 寄附つきクッキー <協働>	
③ Yahoo ネット募金 <協働>	
④ その他	
エ) 広報・情報発信	8
3 中間支援事業	
ア) ひょうご地域 NPO マネジメント講座<助成>	9
イ) 黒田裕子さん追悼フォーラム<助成>	10
ウ) NPO 支援活動	11
エ) はあ〜とふるふぁんど支援事業<受託>	12
4 運営管理	
ア) 会議	13
イ) 運営上の重要事項	14

1 助成事業

ア) 平成 27 年度助成事業

①助成の趣旨

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の市民団体等による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

②応募対象者

1. 神戸市及び周辺の地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

③助成金額

平成 27 年度助成事業は、助成総額 300 万円を予定しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 50 万円 を上限とする。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 30 万円 を上限とする。
	助成総額は 200 万円までを予定。	助成総額は 100 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

④ 助成事業の内容

- 1) 平成 27 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
上記 A B の一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
- 2) 助成対象期間：平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
- 3) 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先しました。
- 4) 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）、負担金（諸会費）※交際費は対象外。
- 5) 申請受付 期間；平成 27 年 7 月 21 日（火）～平成 27 年 8 月 31 日（月）
個別相談団体数：10 団体

申請受付団体数：42 団体（一般枠；37 団体、特定枠；7 団体）

⑤書類選考 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施した。

開催日時：平成27年9月18日（金）13:30～15:30

場 所：しみん基金・こうべ事務所

形 式：理事会にて審議

選考結果：19 団体（一般枠；15 団体、特定枠；4 団体）

⑥ヒアリング調査 以下の通り、書類選考された19 団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、ヒアリング調査を実施した。

期 間：平成27年10月1日（木）～平成27年10月10日（土）

形 式：当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

⑦公開審査会 以下の通り、書類選考された19 団体のプレゼンテーションによる公開審査会を開催した。

開催日時：平成27年10月30日（金）13:00～17:30

会 場：神戸市生涯学習センター（コムスタ神戸）・多目的（301号）室

出席審査員（順不同・敬称略）：

森崎 清登（審査員長）、清水 勲夫、相川 康子、河口 紅、
猪本 郁、津久井 進、中島 淳、山田 剛司、土居 和弘

⑧助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の8 団体（一般枠；4 団体、特定枠；4 団体）の各事業に合計3,000,000 円（一般枠；2,000,000 円、特定枠；1,000,000 円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	自立生活センターリングリング	障害者の地域生活を支えるためのエンパワメント事業
	2	FOP 明石	難病と闘う患者とその家族との交流会
	3	（特活）Peace&Nature	International Nature School 2015 バイリンガルで学ぶ環境プログラムの制作と普及事業
	4	（特活）兵庫県子ども文化振興協会	ホッとアートプレゼント事業
特定枠	5	（特活）しゃらく	東日本大震災復興支援「古民家再生バスツアー」事業
	6	東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream	東日本大震災における避難者の現況を伝え続け、その経験を今後の防災、減災、災害時における人権擁護の観点から教訓として生かしていく活動
	7	避難者と共に歩む神戸の会	避難者グループの自主活動の後方支援
	8	アトリエ太陽の子	絵画を通じた東北支援活動招福干支の色紙絵を描こう会

⑨覚書締結・助成金交付

上記各団体としみん基金・こうべ事務所にて、11月10日（火）に助成金交付に関する覚書を締結した。また、11月26日（木）に、各団体に対して助成金を交付した。

⑩助成先団体活動レポート

助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄附者や市民に知ってもらうために、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで下記のとおり発信した。

- ・5/26：(特活) 元気ファーマいねがわ
- ・7/6：(特活) はちどり人権塾
- ・7/10：西区聴力言語障害者福祉協会
- ・8/4：東灘こどもカフェ
- ・8/6：福島ハーメルン・プロジェクトジョイントチーム
- ・3/12：FOP 明石

(他のH27年度助成先団体についても、助成対象期間終了までに、随時訪問する予定です。)

イ) 平成27年度しみん基金・KOBE 特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。

公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は「居空間 RoCoCo」に決定しました。

なお、後述の平成26年度助成事業成果報告会にて、贈呈式を行いました。

ウ) 平成26年度助成先事業成果報告会

平成26年度助成事業（助成対象期間：平成26年10月1日～平成27年9月30日）について、平成27年10月末日までに事業報告書を提出頂きました。また、事業成果報告会を下記の通り実施しました。

- ・開催日時：平成27年12月11日（金）14:00～16:30
- ・開催場所：神戸市生涯学習センター（コムスタ神戸）・セミナー(203号)室
- ・発表団体：1. (特活) はちどり人権塾
- 2. 東灘こどもカフェ
- 3. 神戸・子どもと教育ネットワーク
- 4. (特活) 元気ファーマいながわ
- 5. (特活) 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ
- 6. 福島ハーメルン・プロジェクトジョイントチーム
- 7. 神戸大学東北ボランティアバスプロジェクト

・開催のねらい：

- ①各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄附提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する。
- ②市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合う。
- ③各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いやネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。

2 寄附・募金活動

ア) 寄附金・募金受入

以下のみなさんより寄附金を頂きました。(敬称略・順不同)

中谷 豊	(特活) ふおーらいふ
ギャラリー島田	橋口 文博
瀬戸口 延恵	井上 由紀子
東日本大震災暮らしサポート隊*	(特活) ゆいまーる神戸*
日本死の臨床研究会*	中野 朝恵*
神戸芝居カーニバル実行委員会*	青山 幸嗣*
竹村 和子*	(一財) 敬愛まちづくり財団
関西学院大学災害復興制度研究所*	松浦 由香*
成瀬 かおる*	井上 利恵*
窪田 直美*	西岡 潤二*
神戸復興塾*	吉川 ゆき江*
早野 美智子*	薮本 郁
山田 剛司	土居 和弘
八杉 嘉代*	(認定特活) コミュニティ・サポートセンター神戸*
(特活) セブン・ゼネレーション	佐藤 恵*
濱野 陽子*	生活協同組合コープこうべ*
(特活) CODE*	被災地NGO 協働センター*
南 裕子*	阪神高齢者障がい者支援ネットワーク*
(特活) 災害看護支援機構*	島田 誠*
高原 耕平*	赤松 竜
兵遊協福祉基金	武田 政義
和田 修	山口 聡子
室崎 益輝	佐藤 庸安
岡田 明	山添 令子
江口 聰	中山 広隆
こうべあいウォーク 2016 実行委員会	芦田 俊
黒田裕子を偲ぶ会実行委員会	中島 秀男
飛田 雄一	未来の社会を考える仲間たち
ヤフー(株)	(有) ボック
オレンジスリフティ ((有) 神戸国際マーケット) へ古着を提供して頂いた皆様	

総額 ￥ 3,428,967

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

なお、*印は「黒田さん追悼フォーラム」への賛同金として寄附を示しています。また、「黒田裕子を偲ぶ会実行委員会」からの寄付金については、「黒田裕子基金 (仮称)」とすることを今後検討することにしていきます。

イ) イベント募金

①こうべ・あいウォーク2016 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金(一口千円)は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

■主催: こうべ・あいウォーク実行委員会(神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、(特活)まちコミュニケーション、(特活)しみん基金・こうべ)

■協力: 近畿労働金庫地域共生推進室

■日時: 平成28年1月10日(日) 9:30~13:30

■場所: 長田区(大国公園~鉄人28号モニュメント前、大正筋商店街、丸五市場 ~みくら5)

■実績: 参加者/約200人、寄附金額/¥184,784

②ずっと・こころ・つなぐ基金上映会

今年度は、ドキュメンタリー映画「友よ!大重潤一郎魂の旅」(四宮鉄男監督作品、2014、109分)を下記のとおり6回にわたり開催した。

これまで、ずっと・こころ・つなぐ基金上映会では、被災地から遠く離れていて風化しがちな意識を、映像を通じて振り返り、上映後に感じた想いを共有し、それをKOBE発の災害支援ボランティア活動団体に託すことで、被災者支援につなげていくことを目指してきた。

今回の作品では、それに加えて主人公の大重潤一郎氏がこれまで制作してきた作品で描いてきた自然と一体となった生の営みを東北の被災者に見られる祈りの姿と重ね合わせながら、本当のいのちと向き合い方を共有することで、被災者支援につなげていくこころの在り方を捉え直すことを目指した。

開催回	開催日時
第1回	平成27年6月5日(金) 19:00~21:00
第2回	平成27年7月3日(金) 19:00~21:00
第3回	平成27年8月7日(金) 19:00~21:00
第4回	平成27年9月4日(金) 19:00~21:00
第5回	平成27年11月6日(金) 19:00~21:00
第6回	平成27年12月4日(金) 19:00~21:00

■場所: しみん基金・KOBE事務所

■実績: 参加者/延べ36人、寄附金額/¥14,366

ウ) 協働企画寄付システム

①古着チャリティ事業 (協働事業)

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としています。

提携店内ポスター掲示、サンクスカードの発行、は継続。また、昨年度に引き続き(有)長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店3店舗に「古着寄附BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着回収の増加に努めた。また、5月にはアースデイ神戸に、6月にはKIITOマルシェにブース出展して、古着回収を呼びかけた。

■提携先: (有)神戸国際マーケット 寄附金額: ¥204,746

② 寄附つきクッキー（協働事業）

平成27年11月23日から、神戸洋菓子「ボックスン」のご協力により、寄附つきクッキー「有馬ソルトクッキー」（10枚入り、1080円・税込）の発売が開始された。ボックスンの各直営店等にて販売されていて、売上の3%が当基金へ寄付される。なお、同商品は平成27年度「5つ星ひょうご」に選定されました。

■提携先：(有) ボック 寄附金額：¥35,283

③ Yahoo ネット募金（協働事業）

今年度より、Tポイントで募金ができる「YAHOO ネット募金」に登録しました。余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントが寄付することができる仕組みです。当基金では、ずっと・こころ・つなぐ基金への指定寄付として登録しています。

■提携先：ヤフー(株) 寄附金額：¥42,860

④その他

- 1) ろうきんNPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、 寄附金額：¥12,000
- 2) 募金箱 協力設置場所：10ヶ所 募金金額：¥26,442

エ) 広報・情報発信

① ニュースレター発行：3回

第36号：平成27年7月、第37号：平成27年12月、第38号：平成28年3月

② ホームページ；最新記事を62本掲載。 FB；47本記事掲載

③ メルマガ発行：9回（4/14、5/8、6/22、7/6、8/18、10/6、11/17、12/21、2/22）

④ 検索サイト YahooYDN・Google Adwords の継続

・YahooYDNの広告掲示回数（2016年3月の1か月間）

16,775,226回、クリック数600回、クリック率0.0036%

・Google Adwordsの広告掲示回数(2015年度)

187,690回、 クリック数788回、クリック率0.42%

⑤ 寄附つきクッキー：店舗用ポスター新規制作

⑥ 古着チャリティ：オレンジスリフティ店内用及びクリーニング店舗用ポスター更新

3 中間支援事業

ア) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業 (助成事業)

この事業は、神戸・兵庫地域の NPO 法人等を対象として、現状の経営分析を行い、課題を抽出して中期 (事業) 計画づくりを行うことを通じて、NPO 法人等の経営層のマネジメント能力の向上を図ることを目的とした基本コースと、前年度受講した団体向けに、PDCA サイクル (Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善)) をまわすことを定着させていくことを目的としたフォローアップコースで構成され、下記の通り実施した。

なお、この事業はひょうごボランティア基金・中間支援助成の受託事業として実施しました。

[実施概要]

A. 基本コース

- (1) 座学講座：5 回開催 (3 時間/回) / プレゼン+レクチャー+ワーク
 - ① 2015年10月15日 (木) 第1回座学講座「NPOマネジメント論～ミッション・ビジョンの重要性」
 - ② 2015年11月19日 (木) 第2回座学講座 「ステークホルダー分析手法を学ぶ」
 - ③ 2015年12月17日 (木) 第3回座学講座 「SWOT分析手法を学ぶ」
 - ④ 2016年1月21日 (木) 第4回座学講座 「BSCによる中期 (事業) 計画づくりを学ぶ」
 - ⑤ 2016年2月18日 (木) 第5回座学講座 「中期 (事業) 計画案」の発表
- (2) 個別訪問：4回 (2時間程度/回) × 4 団体へ訪問/個別に課題作成を支援する
 - ① 座学①-②間で訪問し、「ビジョン検討シート」作成を個別支援
 - ② 座学②-③間で訪問し、「ステークホルダー分析シート」作成を個別支援
 - ③ 座学③-④間で訪問し、「SWOT分析シート」作成を個別支援
 - ④ 座学④-⑤間で訪問し、「中期 (事業) 計画案」作成を個別支援
- (3) 受講団体 4 団体
 - ① (特活) オーガニック・ライフ・コラボレーション (神戸市東灘区)
 - ② (特活) こどもコミュニティケア (神戸市垂水区)
 - ③ (社福) 神戸市垂水区社会福祉協議会 (神戸市垂水区)
 - ④ (特活) チャレンジひがしなだ (神戸市東灘区)

B. フォローアップコース

- (1) 個別訪問：4 団体
 - ① 2015 年 9 月下旬 活動状況の中間フォロー
 - ② 2015 年 12 月 団体ごとの課題に対する助言
 - ③ 2016 年 1 月下旬～2 月上旬 今年度事業の評価
 - ④ 2016 年 3 月 次年度事業計画への助言
- (2) 受講団体 4 団体
 - ① (特活) 東灘地域助け合いネットワーク (神戸市東灘区)
 - ② (特活) 保育ネットワーク・ミルク (三田市)
 - ③ (特活) ふおーらいふ (神戸市垂水区)
 - ④ 東灘こどもカフェ (神戸市東灘区)

[実施体制]

- ・スーパーバイザー兼講師：當間克雄氏 (兵庫県立大学経営学部・教授)
- ・講師兼アドバイザー：河合将生氏 (Office Musubime・代表、准認定ファンドレイザー)
- ・アドバイザー兼事務局：江口聡 (当基金事務局長、認定ファンドレイザー)
- ・事務局：戸田香苗 (当基金スタッフ)

イ) 黒田裕子さん追悼フォーラム (助成事業)

この事業は、黒田裕子前理事長の1周年にあたり、その偉業を偲ぶとともに、これからの未来に向けて受け継ぐべきことを共有する場をもつことを目指して、下記のとおり実施しました。

なお、この事業は、兵庫県「ひょうご安全の日推進事業」の助成金を受けて実施しました。

[実施概要]

■日時：2015年11月21日(土) 14:00～17:00

■場所：神戸まちづくり会館

■プログラム内容：

・基調講演：室崎益輝氏(ひょうごボランティアプラザ所長)

「黒田裕子さんから受け継ぐべきこと」

・パネル・ディスカッション

酒井明子氏(福井大学医学部教授)

佐野淳也氏((一社)しこくソーシャルデザインラボ代表理事)

津久井進氏(弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所)

コーディネーター兼コメンター

室崎益輝氏(ひょうごボランティアプラザ所長)

① 黒田さんとの出会い・一緒に取り組んだ活動

② 黒田さんから学んだこと・受け継いでできたこと

③ 次世代へ受け継いでいくべきこと

■主催：黒田裕子さん追悼フォーラム実行委員会(18団体で構成)

■共催：こうべまちづくり会館

■後援：一般社団法人神戸青年会議所

■参加者数：113名(スタッフを含む)

■成果：

1) 現場での実践に基づいて発信していくこと

2) 支援を必要とされている方にはひとりひとりに寄り添い最後まで見守ること

3) そのような支援をする人を支えるネットワークをつくっておくこと

4) そのようなことができる人材を育成すること

以上4つのことを、黒田裕子さんからのメッセージを未来へ継承していくべきこととして、共有できた。

ウ) NPO 支援活動

- ① 神戸市アドバイザー派遣事業 主催：(特活) 神戸まちづくり研究所 (神戸市からの委託事業)
 - ・(特活) 西須磨だんらんへのアドバイス：4回 (7/23、9/7、11/9、12/7)
 - ・(特活) Peace&Nature へのアドバイス：2回 (7/21、8/23)
 - ・NPO 運営ステップアップ講座：2回 (11/22、2/7)
 - ・MTG・ケース検討会&全体報告会：7回 (6/2、7/14、8/13、9/16、1/27、3/8、3/15)

- ② ひょうご中間支援NPOネットワーク 事務局：(特活) シミンズ・シーズ
 - ・全体意見交換会：2回 (6/16、11/11)

- ③ 中間支援NPOと行政の意見交換会 主催：神戸市プラットフォーム
 - ・MTG：1回 (12/10)

- ④ 助け合い基金推進研究会 主催：(認定特活) コミュニティ・サポートセンター神戸
 - ・MTG：2回 (6/16、7/28)、研究会：3回 (12/9、1/26、2/26)

- ⑤ 市民ファンド推進連絡会 事務局：(特活) 市民社会創造ファンド
 - ・MTG：3回 (5/30、7/11、8/17)
 - 2015年度からトヨタ財団より助成を受けて市民社会創造ファンド内に設置された「市民ファンド推進プログラム」の内容詳細を検討

- ⑥ (認定特活) 環境市民・組織基盤強化支援 助成元：パナソニックNPOサポートファンド
 - ・MTG：10回 (4/15、5/11、6/9、6/29、7/18、7/21、12/26、1/15、2/23、3/17)

- ⑦ 講演等その他
 - (ア) 平成27年7月4日 おとなだいご塾「共感を呼ぶ企画書・助成金担当者から聞く」
講師：江口事務局長 主催：(特活) 場とつながりラボ home's vi
 - (イ) 平成27年9月24日、10月21日、11月25日、平成28年1月28日
「NPO マネジメントスクール」 アドバイザー：江口事務局長 担当団体：(特活) 神戸ベイビーカフェ (12/2訪問) 主催：生きがい仕事サポートセンター播磨東
 - (ウ) 平成27年10月31日 講座「信頼に値する市民活動団体の条件とは？」
コーディネーター：江口事務局長、主催：(社福) 大阪ボランティア協会
 - (エ) 平成27年11月13日 研修「社協流！ファンドレイジングのすすめ」
講師：江口事務局長、主催：奈良県内社協職員連絡会
 - (オ) 平成27年11月16日 講座「ファンドレイジングのすすめ」
講師：江口事務局長、主催：(特活) ひらかた市民活動支援センター
 - (カ) 平成28年3月26日 フォーラム「〈災害時経済〉と市民社会一支援と自立をめざす市民事業」
パネリスト：江口事務局長、主催：東京大学被災地支援ネットワーク

エ) はあ〜とふるふぁんど支援（ボランティアあしすと部門）事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋）

- ・支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。
- ・受付期間 平成 28 年 1 月 5 日（火）～平成 28 年 3 月 4 日（金）
- ・申請受付団体数 79 団体（うち 18 団体に支援金交付予定）

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：平成27年5月28日（木）18:00～19:00

開催場所：しみん基金・こうべ事務所

出席会員数：24名（うち委任状提出18名）、正会員数：36名

審議事項：（1）平成26年度事業報告並びに決算報告

（2）平成27年度事業計画案並びに予算計画案

（3）基本財産の取り崩しについて

（4）新理事長及び新理事選任について

② 理事会

1) 平成27年5月7日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①平成27年度定時総会付議事項、

2) 平成27年9月18日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①公開審査会の時間と団体数について、②一般枠・特定枠の書類選考

3) 平成27年10月30日（金） 開催場所：コムスタこうべ301号室

審議事項：①公開審査会選考結果承認・助成先団体・金額の決定、②しみん基金KOBE特別賞選考、③基本財産の取崩について、④平成26年度助成先事業成果報告会、⑤こうべあい・ウォーク2016

4) 平成28年2月19日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①HYOGON入会について、②総会・理事会等の今後の日程について

③監査

平成27年4月16日（木）開 催場所：しみん基金・こうべ事務所

監事：佐藤庸安、森田拓也

④四役運営会議

平成27年4月30日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成27年度定時総会に付議する事項、②各事業の詳細について、③役員・会員について

⑤理事・審査員合同会議

平成27年7月16日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成27年度助成事業について、②これまでの継続協議事項について

イ) 運営上の重要事項

① 戒正晴新理事長の正式就任

平成 27 年度定時総会において、新理事長就任について承認されて、正式に就任しました。
なおその後、平成 27 年 6 月 5 日に登記しました。

② 認定 NPO 法人格取得

平成 27 年 7 月 2 日に申請し、平成 27 年 10 月 23 日に「認定特定非営利活動法人」として認定されました。(認定番号：神市参市協第 704 号)

③ 基本財産の取り崩しについて

平成 27 年度定時総会での議決に基づいて、平成 27 年 10 月 30 日の理事会での承認を経て、同年 11 月 26 日に基本財産から 200 万円を運用財産に繰り入れました。

④ 市民ファンド推進助成プログラム（主催：市民社会創造ファンド）について

平成 27 年 10 月 28 日に企画申請書を提出し、12 月 9 日にヒアリングを受けました。
その結果、平成 28 年 1 月 14 日に「ファンドレイジング力向上のための基盤強化事業」として、助成金 150 万円が採択された旨の正式通知があり、2 月 4 日に贈呈されました。
第 1 回ファンドレイジング戦略会議を 2 月 11 日に開催し、当基金のファンドレイジングについて、外部アドバイザーを交えて協議し、プログラム開発を進めることになっています。